

特集 Special Feature 夢に向かって進め！ 2022.冬

Go for your dream. 2022 winter

今月号は全国大会などで活躍する子どもたちを紹介します。将棋やソフトボール、フェンシングなど、それぞれの舞台で目標や夢に向かって頑張っている皆さん。その思いに迫ります——。





小西 雛

— Konishi Hina —

MEMO

三重国体が中止となり、三重・兵庫・愛媛の3県で代替試合が行われ、小西さんと福山さんは愛媛県代表として同大会に出場しました。写真は12月18日に行った練習試合でのものです。二人はAチームとBチームに分かれて、それぞれのチームを引っ張っていました。

祝

2021 三重とわか国体
ソフトボール競技少年女子（代替大会）出場

聖カタリナ学園高等学校
ソフトボール部

福山 りく

— Fukuyama Riku —



練習試合では1番サードで出場。毎打席のようにヒットを放ち、チームに貢献していた



練習試合では1番センターで出場。味方の攻撃時に全力で応援する姿が印象的だった



笑顔とガッツあるプレーでチームを引っ張りたい

私の持ち味は、ガッツのあるプレーです。技術的にはまだまだで、できないことが多いけれど、気持ちでは負けたくありません。三重国体の代替試合では勝つことになりましたが、結果は2敗。悔しかったです。この悔しさと初めて全国の舞台に立てた経験を、次に生かしていきたいです。

私たちのチームは個々で目立つ選手はいませんが、チームワークのよさが強さにつながっています。キャプテンになってからも、みんなに助けてられてばかりなので、私も笑顔でチームを引っ張っていきたくて頑張っています。課題は攻撃面です。冬場は毎日2000回の素振りをして、下半身を強化。みんな飛距離が伸びてきました。夏まで頑張って得点を上げていきたいです。

地域の皆さんの応援にはいつも感謝しています。今年はずっと活躍して、その期待に応えたいです。



聖カタリナ学園高校2年
小西 雛さん＝東沖＝

自分のためにではなく、チームのために強くなる

中学校の部活動でソフトボールの面白さを感じるようになり、もっとレベルの高いチームでやってみたくて、聖カタリナ高校に入りました。最初は先輩たちのレベルの高さに焦り、ミスばかり。バットイングの調子も悪くなり、1年生の後半からは右から左に打席を変えるなど、不安なことばかりでした。でも仲間にも恵まれ、切磋琢磨してきたことで、今では自信を持ってプレーできています。

三重国体の出場機会は少しだけでしたが、強いチームを肌で感じることができ、いい経験になりました。そして、より強く聖カタリナ高校のみんなと全国大会で戦いたいと思うようになりました。今は目に焼き付けた全国レベルの選手に追いつけるように練習を重ねています。外野の要を任されているので、守備力をもっと磨いてチームのピンチを救えるようなプレーができるように頑張ります。



聖カタリナ学園高校2年
福山 りくさん＝松尾＝

祝

第45回ピティナ・ピアノコンペティション
全国大会／全日本ピアノコンクール／出場

本田ひまり

— Honda Himari —



コンクールで演奏する曲の楽譜はいろいろなメモがびっしり。小さな体と手を目一杯使って演奏している



悔しくて泣いてしまうこともあるけれど、夢をかなえる

私はピアノが大好きで、ずっと楽しんでます。今は練習時間が増えてきて、1日3時間くらいしてます。もっと上手に弾きたいので、コンクールの曲だけでなく、いろんな曲にも挑戦しています。できない悔しさで泣いてしまうときもあるけれど、夢をかなえるために頑張りたいです。夢はピアノの先生になることと、ドイツのローテンブルク市に行くことです。英語も頑張って、いつかドイツでピアノを学びたいです。

全日本ピアノコンクールは、有名な審査員が多いので緊張しています。演奏する曲は「ショパン風マズルカ」です。曲調がたくさん変わる難しい曲ですが、楽しそうなキラキラする部分があるので、そこを弾くのが好きです。出だしがすごく難しくて、何度も何度も練習しています。一つ一つの音の意味を考えながら、上手に弾きたいです。



立川小学校3年
本田ひまりさん＝立川中央＝

祝

E F A第44回愛媛県U-11サッカー新人大会県大会出場

内子サッカースポーツ少年団

— uchiko soccer junior sports club —



週3～4回、内子小のグラウンドで練習。1月8・9日の大会に向けてチームワークに磨きをかけている



県大会出場で満足せず、もっと上を目指して頑張りたい

県大会の目標はベスト4です。予選では先制した後も、攻め続ける姿勢がよかったので、みんなをパスを回して相手陣営に攻め込みたいのです。そしてみんながつないでくれたボールを、僕がきちんと決めて、勝利につなげたいです。県大会出場だけで満足せず、全国大会である秋の大会で力が発揮できるよう、頑張ります。

いつも練習を教えてくれるコーチを県大会に連れて行けるのが、すごくうれしかったです。少しでも恩返しに戦ってあげたいと思います。一生懸命に戦ってくれたチームメイトにも感謝です。僕は普段からキャプテンとして何をするべきかよく考えるようにしています。例えばミスをした子に声を掛けるなど、みんながベストを尽くせるようにサポートしています。ドリブルやシュートにも自信があるので、プレーでもチームを引っ張りたいです。



内子小学校5年
山岡 遥斗さん＝護国＝



松山市の余戸公民館で練習している優波さんと優晴さん。二人の種目は「サーブル」といい、「突き」だけでなく、「斬り」もあるのが特徴です。その分、攻撃が多彩になりダイナミックな攻防が見られるそうです。「この環境と支えてくれる母に感謝」と口をそろえる二人。さまざまな表情からフェンシングが好きという気持ちが伝わってきます。

特集 Special Feature

夢に向かって進め！ 2022. 冬

選手の皆さん、おめでとうございます。そして、元氣と勇気をありがとうございます。今年も広報うちこは、頑張る町民の皆さんを紙面を通じて応援したいと思います。みんなの夢を、一緒に応援しましょう。

Go for your dream!

終



新田高等学校1年
織田優波さん 松尾

感謝の気持ちで日々を重ね
オリンピック選手になりたい

小学5年生の時、ジュニアアスリートに選ばれ、フェンシングの適性があると言われて挑戦を始めました。最初はルールも知らず、周りは上手な子ばかり。不安を振り払うように必死に頑張りました。

今は私がいる「カデ」という部門で、全国ランキング13位にいます。シニアの大会にも出場し、日本代表選手と戦う機会ももらいました。全然歯が立たなくて悔しかったけれど、あこがれの選手の皆さんを生で見ることができて感動しました。夢はオリンピックに出ること。親やコーチ、仲間への感謝を忘れず、日々の練習を大切にして努力を続け、いつか夢をかなえたいです。ジュニアオリンピックカップではベスト8を目指します。



内子中学校3年
織田優晴さん 松尾

全国で戦うのが楽しみ
どんどん吸収して強くなる

姉の影響でフェンシングを始めました。多彩な攻撃があり、一瞬の隙で点が入るのが魅力です。本格的に始めてからは、まだ半年。経験のなさが敗因につながっています。どんどん試合をして吸収することが大切です。ジュニアオリンピックは貴重な機会なので、たくさん学んできたいです。

今の目標は高校生の日本代表になること——。コーチや先輩など、強い人が近くにいる恵まれた環境にいます。いつも送迎してくれる母や、この素晴らしい環境をつくってくれている全ての人に感謝しています。体に負荷がかかる競技で、しんどいこともあります。楽しみながら頑張ります。早く強くなって、皆さんに恩返ししたいです。

祝

第29回JOCジュニア・オリンピック
ク・カップ フェンシング大会出場

織田優波

— Oda Yuwa —

織田優晴

— Oda Yusei —